

## 貝塚イブキと銀葉アカシアのさし木に対する Bottom heat 日長ならびにIBAの処理効果

田村 輝夫・森田 治雄  
(園芸試験場久留米支場)

TAMURA, T. and MORITA, H.  
Effects of Photoperiod, Bottom heat and IBA on the Rooting of  
*Juniperus chinensis* var. *Pyramidalis* and *Acacia Baileyana*.

挿木の発根促進に日長, Bottom heat, 発根促進物質が有効であることはすでに多くの研究があるが, これらを組み合わせたものはほとんどないのでその組み合わせ効果を調べた。

### I. 材料および方法

挿床の用土はピート(細目)とパーライトを容量で7:3に混合したもの, 日中は15分に20秒のミストを行った。床温は温床線とグリーンサーモで25℃, 20℃, 15℃, 無処理とした。長日区は, 17~21時と6~8時に電照を行った。60W電球を用い挿穂まで最も遠い所で1.2mとした。発根促進剤のIBAはシオノギ製薬のエクベロン2%粉剤を用いた。

実験開始は貝塚イブキが1968年11月12日, 銀葉アカシアが1969年1月14日で, 掘上げ調査は貝塚イブキは1969年3月28日に, 銀葉アカシアは4月7日に行った。

第1表 貝塚イブキの挿木の発根に及ぼす  
Bottom heat 日長, IBAの効果

処 理 法		供試 数	発 根 率	カ 発 生 率	未 根 率	枯 死 率	平 根 均 数	第 2 次 根 数	個 り 乾 体 根 物 当 の 重	
床温	日長 IBA									
25℃	長日	処理	40本	40%	23%	37%	0	4.1	29	1,197
		無	60	33	40	27	0	1.4	14	1,235
	自然	処理	40	20	8	72	0	2.8	11	0.338
		無	60	10	28	62	0	1.7	14	0.175
20℃	長日	処理	40	58	28	14	0	2.9	18	1.054
		無	60	20	52	28	0	1.7	9	0.339
	自然	処理	40	33	25	42	0	2.9	12	0.418
		無	60	10	67	23	0	1.3	4	0.032
15℃	長日	処理	40	10	20	70	0	2.3	2	0.043
		無	60	14	54	32	0	1.6	2	0.072
	自然	処理	40	5	30	65	0	4.0	7	0.069
		無	60	4	48	48	0	2.5	1	0.025
無加温	長日	処理	40	0	33	67	0	0	0	0
		無	60	0	20	80	0	0	0	0
	自然	処理	40	3	15	82	0	5.0	0	0.012
		無	60	0	17	93	0	0	0	0

### II. 試 験 方 法

貝塚イブキは自然日長区に比べ長日区は発根率が高く発根量も多い。Bottom heatは処理区間では, 20℃, 25℃, 15℃の順に効果があり, IBAの処理は一般にかなり効果がみられた。貝塚イブキに対しては20℃の床温, 長日, IBA処理によって著しく発根の良い苗が得られることが明らかとなった。しかし, さらに発根率を高めるための処理を研究する必要がある。

銀葉アカシアは挿木の不可能な樹種と考えられているが, 本試験では実生後7年生のものを用いたがBottom heat 25℃, 長日処理, IBA 2%粉剤処理で40%の発根をみた。挿木の発根が困難とされている樹種について処理方法によっては発根の可能性を示している。

第2表 銀葉アカシアの挿木の発根に及ぼす  
Bottom heat, 日長, IBAの効果

処 理 法		供試 数	発 体 根 数	未 個 体 根 数	枯 本 死 数	平 根 均 長	
床温	日長 IBA						
25℃	長日	処理	10本	4本	0本	6本	11.1cm
		無	10	2	4	4	17.4
	自然	処理	10	0	0	10	—
		無	10	3	3	4	19.5
20℃	長日	処理	10	1	1	9	—
		無	10	5	5	2	5.6
	自然	処理	10	1	1	7	15.3
		無	10	2	2	8	—
15℃	長日	処理	10	2	2	8	—
		無	10	1	1	9	—
	自然	処理	10	6	6	4	—
		無	10	6	6	4	—
無加温	長日	処理	10	3	3	7	—
		無	10	9	9	1	—
	自然	処理	10	2	2	8	—
		無	10	7	7	3	—